

(別添2)

自己評価及び外部評価結果
作成日

令和 6 年 3 月 25 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2794200671		
法人名	特定非営利法人 ふれあいぽっぽ		
事業所名	グループホームふれあい		
サービス種類	認知症対応型共同生活		
所在地	茨木市安威四丁目13番18号		
自己評価作成日	令和 6年 1月 9日	評価結果市町村受理日	令和 6年 3月 26日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人エイジコンサーン・ジャパン
所在地	大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟9階
訪問調査日	令和 6年 3月 4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の生活状態を家族に連絡報告し連携を行っている。
個々の利用者に沿った施設計画の援助を行っている。
健康と安全に配慮し、利用者が安心して生活出来るように援助している。
体操や散歩、レクリエーションを行う事で自立した生活を送る事が出来るように援助する。
緊急時に冷静な判断と行動が出来る事と介護技術が向上する研修を繰り返し行う。
コロナ渦により面会は制限を行っているが、リモート面会、ガラス越しでの面会を行い、ふれあう機会を設けている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

法人の中でもGHふれあいは、設立されてまだ今年で5年目であるが、隣接するGH安威ぽっぽの高い介助支援や接遇の方法の修得を受けられ、利用者の支援に当たられている。家族もそのような協力体制からくる安心感を抱かれており、GHふれあいに特別な強い信頼感を寄せられている。管理者や計画作成担当者も認知症の介護経験も十分に豊富であり、その体験から得られた知識は、的確な介助支援となって現れている。現在はコロナ渦という事もあり利用者の安全対策に重点があるようである。その為、地域との接点はまだ、これからという面も散見される。それでもコロナ渦はやや沈静化されてきた気配も感じられる為、家族の訪問も徐々に増えてきている。職員の介護技術を向上させる研修も充実されており職員の支援活動のスキルアップは継続的に実施され、ホームの支援活動の中でしっかりと活かされている。